

日本赤十字社医療センター



東京都渋谷区広尾 4-1-22
 TEL (03) 3400-1311
 URL : <http://www.med.jrc.or.jp/>



【 概要 】

病院の所在

〒150-8935
 東京都渋谷区広尾四丁目1番22号
 電話 : (03) 3400-1311
 FAX : (03) 3409-1604
 医院長 : 幕内 雅敏



診療科

- | | |
|-------------|------------------|
| 糖尿病内分泌科 | 心臓血管外科 |
| 整形外科 | 大腸肛門外科 |
| 脳神経外科 | 皮膚科 |
| 血液内科 | 泌尿器科 |
| 感染症科 | 眼科 |
| アレルギー・リウマチ科 | 耳鼻咽喉科 |
| 腎臓内科 | 産科・婦人科 |
| 緩和ケア科 | 新生児科・小児科 |
| 神経内科 | 麻酔科 |
| 呼吸器内科 | 集中治療科 |
| 消化器内科 | 化学療法科 |
| 循環器内科 | 内視鏡診断治療科 |
| メンタルヘルス科 | 放射線科 |
| 呼吸器外科 | 放射線治療科 |
| 乳腺外科 | リハビリテーション科 |
| 胃・食道外科 | 救急科 |
| 肝胆膵外科 | 健康管理科 (健康管理センター) |

同一構内施設

- 日本赤十字医療センター附属乳児院
- 日本赤十字看護大学
- 日本赤十字看護大学院
- 特別養護老人ホーム

職員数

医師	234名
看護師	921名
薬剤師	38名
医療技師	131名
その他	371名
計	1695名

【放射線科】

医療センターでは、患者さんの国際色が豊かで、いろいろな国の方々が訪れます。英語や中国語・フランス語・ドイツ語など幅広い言葉に苦労しながら業務を行っています。

また、放射線科専任の助手さんがいないので、主に患者さんの対応を放射線技師が行います。そのため、患者さんに対する心遣いは天下一品で、患者さんからは感謝の言葉をいただくことがとても多く、患者さんの目線で接することを念頭に業務を行っています。

放射線科の構成は、5課で構成されています。

- ・撮影第一課・・・血管撮影
- ・撮影第二課・・・一般撮影 健診 透視 CT
- ・撮影第三課・・・MRI
- ・核医学技術課
- ・治療技術課

診療放射線技師：36名

放射線科医師：8名（その他サイバーナイフ2名）

放射線科看護師：10名

●撮影第一課

<血管撮影>



アンギオ・心カテは5名のチームで、常時2名の技師が対応しています。夜間、休日の緊急検査は呼び出しとなっています。

尚、三次救急も行っているため、忙しい毎日を過ごしています。

アンギオ室は、CT撮影も完備し、立地も手術

室の横に併設されているため、血管内治療のみならず、TAE後の手術など大変役立っています。

●撮影第二課

<一般撮影>



一般撮影では、胸・腹部撮影、骨撮影、ポータブル撮影、オペ室撮影、MMG、骨密度検査、健診撮影の業務を行っています。放射線技師は、10名で対応しており、レントゲン室6室、ポータブル7台、MMG室2室、骨密度装置1台があります。

当院では生体肝移植が平均1カ月に1度行われています。その際に、術中透視がある為、手術終了まで技師が待機して生体肝移植をサポートしています。（午前4時くらいまではかかります）

<透視撮影>



3台の装置が設置されており2名の技師を常時配属し必要に応じて3人目をヘルプとし3台を動かします。

装置は 3 台とも日立メディコ社であり、TV-900DR、EXAVISTA、TV-3000DR が設置されています。

毎月、500~550 件の検査をこなしており、内訳は 250~300 が検診の胃透視で残りの 200 前後が院内の検査です。午前中は検診胃透視、各診療の検査があり午後からは各診療の検査だけになります。検査のなかでも ERCP が毎日あるのが特徴的です。

夜間、休日の緊急時の対応としては基本的には当直者が対応しますが、場合により呼び出しにも応じられる準備は整っております。



<CT 撮影>



診断用としての CT は東芝社製 Aquilion CX64、Aquilion64、Asteon4 列、GE 社製 Hi speed2 列の計 4 台、WS では ZIO、AZE、VINCENT にて業務を行っています

AquilionCX64 は救命救急センターに設置しており高エネルギー外傷等の検査で活躍していま

す。日勤帯では救急対応以外に入院患者様の検査にも対応しています。その他 3 台は一般診療として外来患者様の検査に使用しています。通常検査以外の特殊検査としては冠動脈 CT (1 週間に 5 名)、CT 下生検 (1 週間に 1 名)、肝臓移植、肝臓切除用の 3D 肝臓解析検査(1 週間に 10 名程度)などを行っています。

検査件数としてはすべての装置をあわせて 1 年間で単純で約 16000 件、造影で約 11000 件になります。

以上の業務 (WS にての 3D 作成を含む) を CT 部門 4 名の技師で行っています。

●撮影第三課

<MRI>



MRI は、1.5T が 2 台 3.0T が 1 台あり、一日 約 50 名の検査を行っています。

スタッフは 6 名おり、常時 3 名の技師が業務を担当しております。

業務は、患者さんの案内に着替え、造影剤の準備電話の対応とすべてをこなしており、毎日が戦争のようです。

その中でも、安全第一に努め、笑顔を忘れず和気あいあいと笑顔を絶やさず業務を行っています。

●核医学技術課



核医学室には2台のガンマカメラが設置されており、2名の技師で日々の業務を行っています。検査内容は多岐にわたるのですが、検査数は月に平均180件から200件程度行っています。

検査に対する患者様の不安を少しでも取り除けるように配慮することに心がけて日々がんばっています。

●治療技術課



放射線治療部門では Varian 社製 Clinac ix、Accurays 社製 CyberKnife2 台の直線加速器を使用し治療を行っています。それぞれ2名の治療担当技師が専従しており、ix 治療装置では主に通常照射を行い、CyberKnife では定位放射線治療を専門に行っています。治療患者数は通常照射が1日約25名、定位放射線治療が約12名の治療を行っています。治療という特殊な部門で、患者様に安心して治療を受けていただけるよう、日々がんばっています。

●夜勤業務



当院では、3次救急・スーパー周産期を抱えているため、技師2名体制で夜勤業務を行っています。

勤務時間は、夕方から翌朝まで、16時間勤務で月に2日から3日ローテーションで回しています。業務内容は、CTは幅広く、日勤帯と変わらないオーダーをこなし、AI撮影も行います。

MRIも多く、頭部・脊椎撮影に対応しています。血管撮影は、IVRになるケースが多く専任の技師を呼び対応しています。

●主要機器

設置室名	装置名称	製作会社名
一般撮影室	UD150B-40,CH-200(2)	島津
	KXO-50S/J3,DST-100S	東芝
	FCR	富士フィルム
	QDR Discovery A (骨密度測定)	米国和ジツク
透視室	DHF-155HⅢ (V),TU-8500H	日立
	DHF-155VⅡ (TU-3000)	日立
	DHF-158VⅡ TU-300DR (アール)	日立
マンモグラフィ室	LORAD M-IV (MMC)	米国和ジツク
	LORAD M-IV (MMC)	米国和ジツク
ポータブル	ソリス - 130HP	日立
手術室	WHA-200(外科用X線)	島津
CT室	HiSpeed Nz/II 2列	GE横河
	Asteion (TSX-021A/5F) 4列	東芝
	Aquilion (TSX-101/HA) 64列	東芝
	Aquilion (TSX-) 64列	東芝
血管撮影室	ARTIS zee BA	シーメンス
	AXIOM ARTIS zee BA Twin	シーメンス
	SOMATOM Emotion 6 (6列 CT)	
	INTEGRIS Allura 15 1管球 (DSA)	フィリップス
MRI室	EXCELART-XG(MRT-2001形)1.5T	東芝
	Achieva 1.5T	フィリップス
	Achieva 3.0T	フィリップス
ガンカメラ室	FORTE(ガンカメラ)	米国ADAC
	Bright-View(ガンカメラ)	米国ADAC
シムラ CT室	Aquilion (TSX-201/1A) LB	東芝
リニアック室	Clinac iX	米国バリア
ライナーナイフ室	ライナーナイフ Ⅱ	米国アール
結石破砕室	Dornier Lithotripter Version Compact S	ドルニエ

【所在地周辺の紹介】

=Shibuya Hikarie=



渋谷駅の日赤医療センター行きのバス停の目の前に、今年4月オープンの Shibuya Hikarie が登場。高さ約 182.5m 地上 34 階 地下 4 階の大きな建物です。

地下 3 階から 5 階までのショッピングエリアには、約 200 の売り場・ショップがオープン。そのうちの 7 割以上が渋谷初出店になります。そこは、売り場を気軽に散策し、自分で発見して組み合わせで楽しむ、新しいショッピングエリア。また、世界でも最大級、客席 1972 席、ビル 5 階を使うミュージカル劇場もあります。そして、イベントホールも完備しています。ショッピングエリアやオフィスなど劇場をはじめとする文化施設にさまざまな機能が交わり、つながるこのタワーは、街がもつ可能性をさらに高め、これまでにない価値を発信していく、渋谷の新しいランドマークになります。

いつも訪れるたびに感動がある。

新しい出会いがある。

そんな渋谷の新しい顔になることでしょう。

=有栖川記念公園=



麻布台地の変化にとんだ地形を生かし、丘があったり、溪流や池があったりと、自然を大切にしたい趣きのある日本庭園です。豊かな緑はもちろんのこと、春はウメやサクラ「区の木」のハナミズキなどがかわいらしい花を咲かせ、初夏にはハナショウブ、夏は「区の花」のアジサイ、秋は紅葉、冬は雪景色など四季折々の美しさを堪能できます。また、野球場、テニスコート、都立中央図書館などの施設も充実しています。

この地は、江戸時代、盛岡南部藩の下屋敷として使われていましたが、明治 29 年、有栖川宮威仁（ありすがわのみやたけひと）親王の裁仁（たねひと）王新邸造成の御用地となりました。大正 2 年、大正天皇は第三皇子光宮宣仁（てるのみやのぶひと）親王に、有栖川宮の旧称高松宮の称号を賜り、その御祭祀をお継ぎになりました。

昭和 9 年 1 月 15 日にこの地を東京市に賜与され、東京市は同年 11 月に記念公園として開園しました。その後、昭和 50 年には港区に移管されて、多くの人に親しまれています。